

報道関係者各位
ソフトブレイン・フィールド株式会社

2013年11月27日

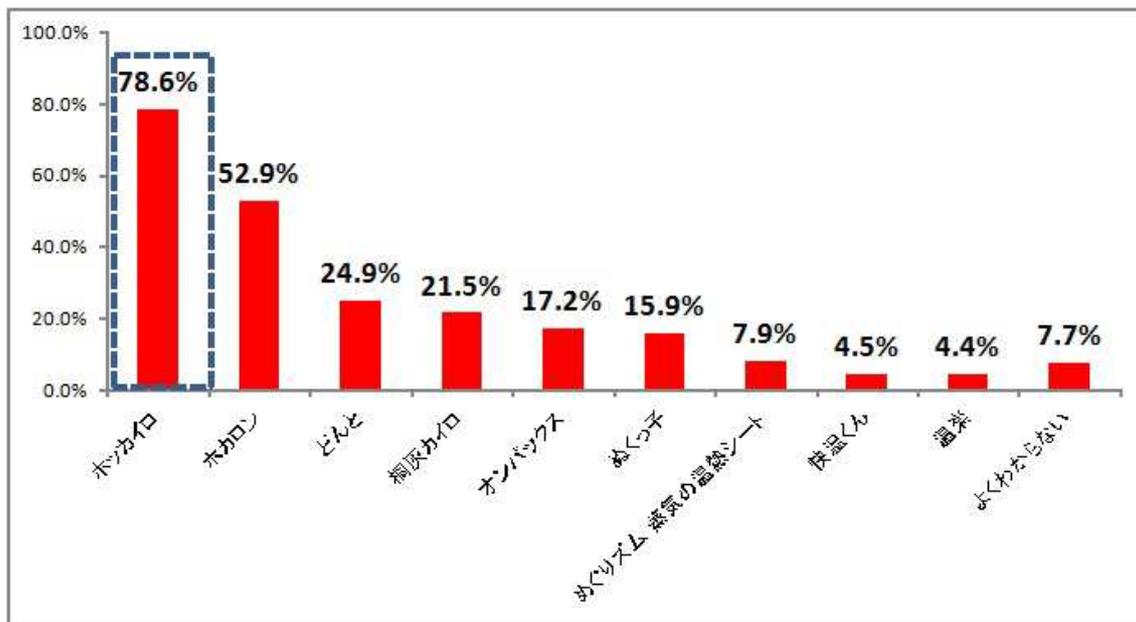
～使い捨てカイロ 4300 人アンケート～
使い捨てカイロで温めるのは手よりも腰！
女性の6割が腰に使い捨てカイロを貼っていることが判明

フィールドマーケティング支援サービスを提供するソフトブレイン・フィールド株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:木名瀬博)は、株式会社クレディセゾンとの共同事業として、2013年2月1日にサービスを開始した「レシートで貯める」のアンケートモニターを対象に使い捨てカイロに関するアンケート調査を行いました。

寒い日が続くようになり、季節は一気に冬となりましたが、消費者の使い捨てカイロの利用の実態について20代～70代の男女4,346名(女性2,649名、男性1,697名)を対象に2013年10月20日に調査を実施しました。

◆ホッカイロの使用経験率は8割弱

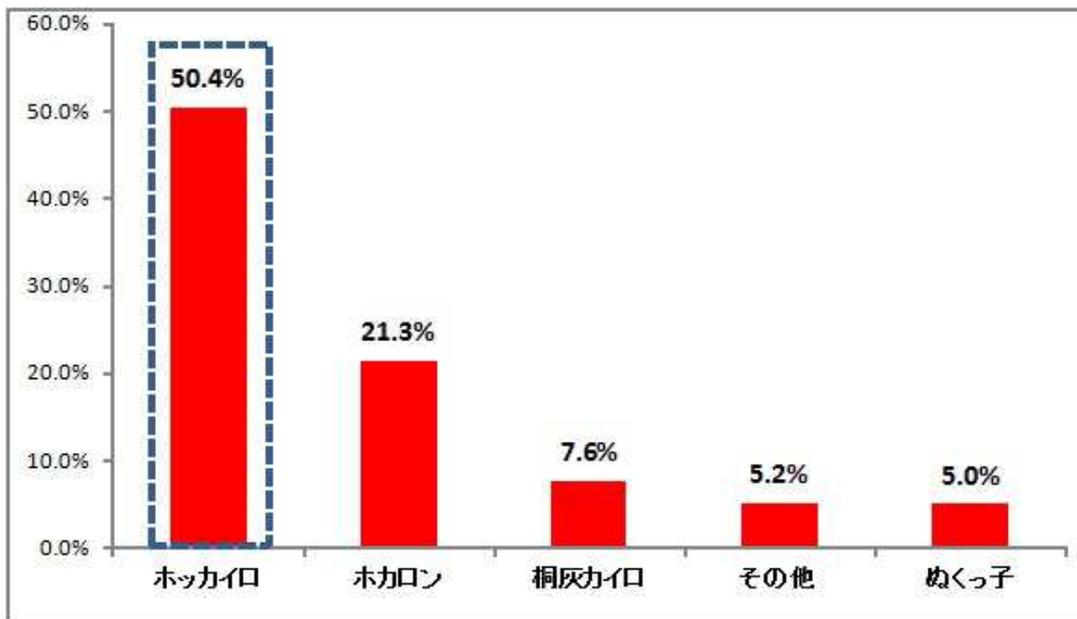
図表1.これまでに使用したことのある使い捨てカイロ(n=4,346)



これまでに使用したことのある使い捨てカイロを聞いたところ、「ホッカイロ」を使ったことがあると答え方が78.6でトップとなりました。次点は「ホカロン」で52.9%、続いて「どんと」24.9%、「桐灰カイロ」21.5%、「オンパックス」17.2%となりました。

◆2人に1人がホッカイロの利用が最も多いと回答

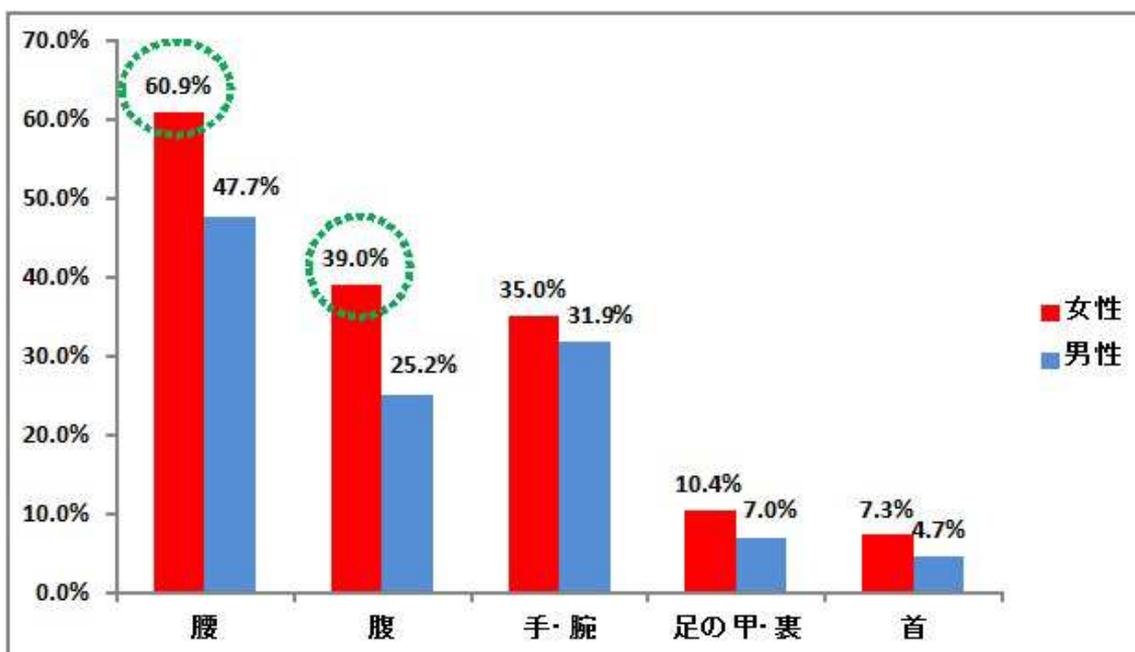
図表 2.最も使用したことのある使い捨てカイロ(n=4,346)



アンケートの回答者に、最も使用したことのある使い捨てカイロについて聞いたところ、トップは「ホッカイロ」で50.4%、2位が「ホカロン」で21.3%でした。使ったことのある使い捨てカイロと順位が変わったのが3位以下で、「桐灰カイロ」は4位から3位に、「めくっ子」は6位から5位にそれぞれ順位を1つつ上げました。

◆手・腕よりも腰やお腹にカイロを使う女性が多数

図表 3.使い捨てカイロの使用部位【複数回答】(n=4,346)

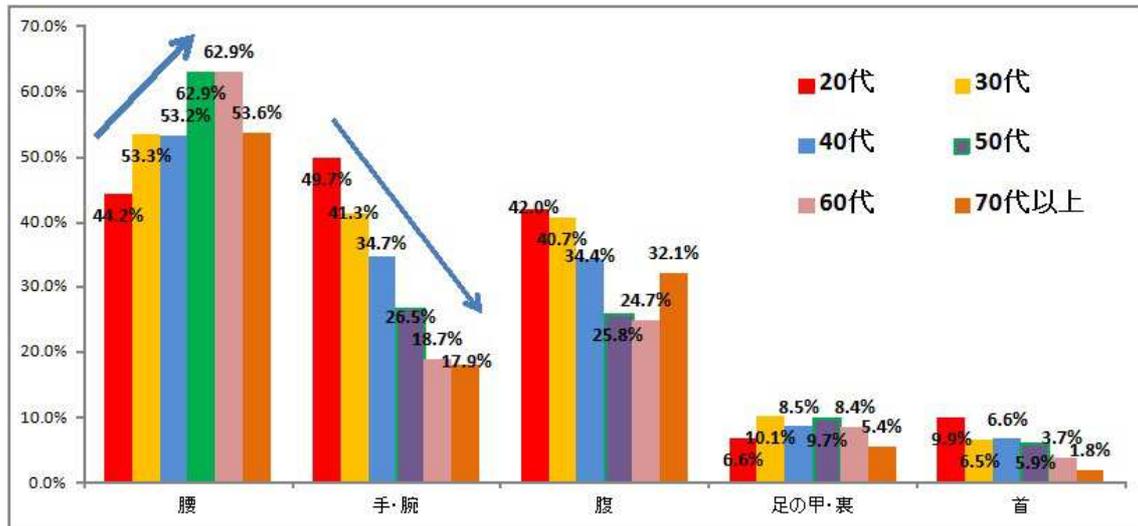


使い捨てカイロを使う体の場所を聞いたところ、男女ともに腰が1位となりました。意見がわかれた

のはお腹で、男性ではお腹よりも手・腕で使用すると答えた方が多かったのに対し、女性ではお腹に使用する方の方が多い結果となりました。

◆世代間でも使用箇所之差

図表 4. 使い捨てカイロの使用部位【複数回答】(n=4,346)



使い捨てカイロの使用部位を世代間で分けてみると、男女ともにポイントの高かった腰について、世代が上がるに連れて使用している方が多いことがわかりました。逆に、一般的なイメージである手の中でカイロを温めて使用するという使い方は 20 代、30 代では 40%を超えているものの、40 代で 34.7%、50 代では 26.5%、60 代で 18.7%、70 代で 17.9%と年齢が上がるに連れて下がっていく傾向にありました。

また男女でポイントの別れたお腹への使用については 20 代が 42.0%、30 代が 40.7%、40 代が 34.4%、50 代が 25.8%、60 代が 24.7%、70 代が 32.1%となっており、各世代で満遍なく使われている様子が見えられました。

一方、使い捨てカイロ以外で、冬の外出時の寒さ対策として行っていることを聞いたところ、「インナーに保湿機能のある生地のできたものを着用する」(54 歳男性・未婚)、「機能性素材を使用した衣類を着たり、手袋、マフラーなどを使用する」(43 歳女性・既婚)、「遠赤外線効果のある衣服を着る」といったような、近年流行している機能性衣料を活用していると答えた方が多数を占めました。

その他、「首」がつく体の部位を温めるようにしている。首ならマフラー等、手首なら丈の長い手袋。足はタイツやブーツを使っています」(43 歳女性・既婚)、「3 つの首(首、手首、足首)を露出させない」(48 歳男性・未婚)といった寒気が服の中に入るのを防ぐ対策を取られている方や、「タイツをズボンの下に履き、腹巻きをするなどの対策をして出かけています」(30 歳男性・未婚)、「マフラーと防寒帽をかぶるようにしています。できるだけ厚着をして寒さをしのいでいます」(54 歳男性・未婚)というように重ね着をすることで寒さを防ぐ方も少なくありませんでした。

図表 5.外出時に行う寒さ対策【一部抜粋】

性別	年齢	結婚	外出中の寒さ対策として行っていること
男性	58	既婚	アクリル毛糸の帽子を愛用しています。
女性	43	既婚	「首」がつく体の部位を温めるようにしている。首ならマフラー等、手首なら丈の長い手袋、足はタイツやブーツを使う。
女性	37	未婚	アウターをしっかりと着て、防寒アイテムをつかう。(マフラー等)
女性	43	既婚	しょうがを食べてから外出する。
男性	54	未婚	マフラーと防寒帽をかぶるようにしています。出来るだけ厚着をして、寒さをしのいでいます。
女性	35	既婚	インナーに保温機能のある生地のできたものを着用する
男性	42	既婚	保温、発熱機能の服を着る
女性	43	既婚	インナーを温かいものにする。寝るときは湯たんぽを使用。
男性	30	未婚	タイツをズボンの下に穿き、腹巻をするなどの寒さ対策をして出かけます。
男性	48	未婚	3つの首(首、手首、足首)を露出させない。
女性	47	未婚	マスクをして外出。冷たい外気が直接鼻の穴に入らないだけでも、だいぶ違う気がする。
女性	44	未婚	ストールやネックウォーマーなど、取り外し可能な物を身につける。(建物の中と外で気温差が大きいため)
女性	43	既婚	機能性素材を使用した衣類を着たり、手袋、マフラーなどを使用します。後は耳あてや帽子です。
男性	40	既婚	アームウォーマー、レッグウォーマーを頻繁に使用する
男性	66	既婚	インナーに暖かいものを着用+手袋を使用。
女性	32	既婚	首、足首、手首、くびれ(腰まわり)など「首」のつくところを冷やさないようにする。
女性	43	既婚	遠赤外線効果のある衣服を着る

【調査実施概要】

対象:クレディセゾン社との共同事業「レシートで貯める」の10代~80代の会員

調査方法:当社「レシートで貯める」サイトを活用したインターネットリサーチ

調査地域:全国

調査日:2013年10月20日

有効回答者数:4,346名

属性:[女性] 20代以下 3%、30代 18%、40代 24%、50代 12%、60代 3%、70代以上 1%

[男性] 20代以下 1%、30代 7%、40代 16%、50代 11%、60代 4%、70代以上 1%

【サービス概要】

- サービス名： 購買理由データ提供サービス
- クレディセゾン「永久不滅.com」サイト上のサービス名： 『レシートで貯める』
- 購買理由収集対象者： 800万人のクレディセゾンのネット会員の内、当サービス登録会員
- 購買理由収集の方法：
 - 指定カテゴリー(約50カテゴリー)の商品を実際に購入した会員が、その購買理由をレシート画像と共に報告
 - 登録会員に、対価としてクレディセゾンが運営するポイントサイト「永久不滅.com」にてポイントを付与
- 購買理由データの販売先： 消費財メーカー
- 購買理由データの提供方法： 契約企業に専用WEBサイトを通してデータを提供
- 当事業の特長：
 - 日本初のレシートによる購買証明付き購買理由データ
 - 800万人のクレディセゾンのネット会員を基盤とした購買理由情報
 - 週次POSデータとの連動分析を可能とする週次購買理由データ
- サービス詳細参照ページ： <http://www.sbfield.co.jp/service/pob.html>
- 購買理由データ提供事業の全体図：



【ソフトブレン・フィールド株式会社 会社概要】

ソフトブレン・フィールド株式会社は、ソフトブレン株式会社(市場名:東証1部・4779、本社:東京都中央区、設立年月日:1992年6月17日、代表取締役社長:豊田浩文)のグループ会社として、全国の主婦を中心とした登録スタッフ約47,000名のネットワークを活用し、北海道から沖縄まで全国のドラッグストアやスーパー、コンビニ、専門店など100,000店舗以上をカバーし、営業支援(ラウンダー)や市場調査(ミステリーショッパー、店頭調査など)を実施しています。
当社代表の木名瀬博は、2004年にアサヒビールの社内独立支援制度に応募し、合格第1号事業として独立しました。

本社所在地 : 東京都千代田区有楽町2-2-1 ラクチョウビル7階

設立 : 2004年7月

資本金 : 151,499,329円

代表取締役社長 : 木名瀬 博

URL : <http://www.sbfield.co.jp/>

【サービスに関するお問い合わせ先】

ソフトブレン・フィールド株式会社

山室(やまむろ)

TEL:03-5537-5496 FAX:03-5537-5982

お問い合わせフォーム : <https://www.sbfield.co.jp/inquirytop/>

【報道関係お問い合わせ先】

ソフトブレン・フィールド株式会社

戦略企画室 柳原(やなぎはら)/具志堅(ぐしけん)

TEL:03-5537-5981 FAX:03-5537-5982

MAIL: solution@sbfield.com